

会派代表質問

私たち議員の仕事は、市の発展と市民の為に頑張ることなのだ!

新政ネット

石渡 登志男 議員



今日の朝、駅に立っていたが、あまりの寒さに震えながら演説を行っていた。そういう中において、市民の皆様方の心温まるご支援に本当に感謝申し上げたい。さて、11月11日に行われた津波避難訓練、私はいつものように白里小学校舎の階段を上った所にいた。市民誘導という大袈裟なものではないが、あの上から見ると、どの辺りから住民の方から来るのか、また年齢層等もよくわかる。高齢者がやはり多い。それこそ避難時、階段を踏み外したりしたら大変。よって「足元にご注意を、手すりがありますのでおつかまり下さい」と、一言お伝えすることに、少しでも事故が防げればと思います。毎年あの場所に立っている。四天木地域の皆様方は、石渡はどうして避難タワーに來ないのか!と思う方もいるかもしれないが、そんな事はない。終わり際だが行っている。そこで担当者から詳細をお訊きしたり、住民の方とも話をしているが、いかにせん身体は一つ、どうぞご理解を!

問 まず、防災面における市の耐震診断と耐震改修補助だが、29年度遂に歳出が0円。誰も行ってない。市は災害に強いまちづくりの推進と、また市長も防災面において、安心・安全なまちづくりの構築を進めていくと言っているではないか。昭和56年6月以前に着工された住宅は震度5程度の地震しか耐えられない。本市ではどれくらいの戸数があるのか。答 本市では約3千戸あります。

はこんな事ではない!地震で建物が倒壊したら千人単位の犠牲者が出るかもしれない。私たちは市民の為に仕事をしているのではないのか、それを片時も忘れてはならない。では今後、どのように周知し改善していくのか。

答 石渡議員からご提言いただきました固定資産税の納付通知書に補助制度の案内を同封しました。今後他市町村の事例などを参考に研究してまいります。

1部屋耐震シェルターというものもある、他の自治体ではそれに補助を付けているではないか。住宅耐震改修は平均150万程掛かると言いますが、これでは厳しい。もっと現実的な対応が必要だ。ある1部屋シェルターなら約27万程でできるではないか。東京都の耐震改修工事費にも設定されている信頼あるシェルターだ。1部屋耐震まで補助の対象を拡大していただくよう最後をお願いしたい。

問 駅に立っている時、みどりが丘の方からご要望があった。若い方々にきていただく為にも原則として小1から小3までの児童保育の対象では厳しい。大綱小では、現在何年生から何年生まで実施しているのか。答 大綱小学児童保育は現在利用児童数が多い為、小1から小3までです。新たに子育て交流センターもできる。大綱小の児童保育も移転すると聞いているが、ならば小6まで対応できるようにお願いしたい。若い方にも本市にきていただく、そういう目的もある中で、アクセル(交流センター設置)を踏みながらブレーキ(小3まで)も踏む、これでは全くもってわからない。小6まで対応できるようにしていくべきだ。

問 細草地域の道路舗装、私は1期目より強く訴えている。24年12月に99名の署名をもって請願として出された。しかも審査した委員会全員一致の採択。以前市は、官民境界立会いの為の調査の実施を考えているとまた工実施まで補修等を行いたいと言われていたが、その後どうなったのか。

答 細草の道路舗装ですが、工事にあたり必要となる地権者調査を進めています。ただ舗装の新設事業の早期の実施は困難であります。工事実施まで道路機能の維持に努めてまいります。

高齢者の方がごぼごぼ道にはまり膝の血を割ったりもしている。通学路として重要な役割も担っている道路。補修だけでは厳しい状況になっている。財政的な事もわかるが、お金のあまりかからない請願はやるが、お金の多少かかる請願は採択してもずっと我慢してね!では何の為に市民から出された請願なのか。市民の願いに対しては、今後も決して私は諦めることはない。この問題についてもずっと追いついていくので、どうぞ宜しくお願いしたい。

関連質問

堀本孝雄 議員



問 県では、現状のままでは砂浜面積は毎年1ヘクタールずつ減り、30年後には多くの地域の海岸で最大40メートルも砂浜が失われると予想しています。白里海岸は、50年前と比べ約90メートル以上も砂浜が失われました。そこで県は、九十九里浜で砂浜幅40メートルを確保するという養浜計画を立てたとのこと。その計画の進捗状況と、白里海岸に対する対応はどうですか。答 本市を含む沿岸9市町村の首長などで構成する九十九里浜浸食対策

検討会議を設置し、これまでに3回開催されました。その中で本市の要望としては、養浜とさらに拡大してできるだけコンクリート構造物による整備を極力控えるような計画にしたいだけをお願いしている状況であります。

問 波乗り道路の工事とその維持管理について現在どうなっていますか。答 海岸へ向かうために設置されている★アンダーパスに堆積した砂については道路(脇道)を含め、砂の除去について関係機関と連携し対応していきたい。アンダーパスの管理については、現在県道路公社と協議中であります。

問 庄せん跡地及び第一保育所閉鎖に伴う跡地の活用について。答 第一保育所の敷地については、国有地を児童福祉施設として使用することを条件に国と借地契約を結んでいるため、建物を取り壊し更地にして返すことになっております。庄せん跡地については、沿道立地型の商業・業務施設の誘導を図るため商業施設を運営する企業等を中心として進出について働きかけを行っているところであります。

本市公有財産活用基本方針の中には、有形資産の精査を行い、財政基盤の確立には積極的な売却や有効利用の検討などが謳ってありますので、ぜひ積極的な活用をお願いいたします。

個人質問

①子育て・教育環境の整備について ②防災対策について

蛭田公二郎 議員



①子育て・教育環境の整備について 問 小・中学校で、最も長く勤務している臨時の任用講師は何年位勤務しているか。また、臨時講師の任用期間は毎月何日から毎月何日までか。

答 本市に勤務する28名の臨時任用講師のうち、講師としての経験が最も長い者は、通算の勤務年数が約20年の状況にあります。臨時任用講師の任用期間ですが、地方公務員法の規定により、1年間勤務する者については、まず、4月1日から9月28日まで、その後、10月1日から3月30日までの辞令が発令されております。

本市では小学校、7校あるうち6つの小学校で、いずれもクラス主任がおられる。臨時ではあるが責任は重い、30年も臨時でおられる方は、任用期間は半年単位だから40回も任用がくりかえされているわけで、いつ任用が打ち切られるか不安定な雇用契約の下で、また劣悪な労働条件の下で教師をやっている。これが子どもたちの教育にも影響を与えないはずはない。教育に臨時はない。臨時講師の処遇の改善、非正規の正規化、教員の増員に今後とも努めて頂きたい。

問 副教材費は、学校の学期が始まる毎に、親御さん宛てに学校から副教材費の一覧表が配布され、「いつまでに支払って下さい」となります。これは、憲法26条の「義務教育はこれを無償とする」に反しているのではないか。副教材費などについて、親御さんの負担を軽減するために何らかの補助などが出来ないか。

答 教材費は、無償である教科書とは別に、校長が児童または生徒の教育

育効果の向上に有効、適切であるものを購入するためにかかる経費となります。

②防災対策について 問 防災無線が相変わらず聞き取りにくいという声があるが、★戸別受信機についても良く聞こえないという声がある。こうした苦情が届いていると思うが、どのように対応しているか。

答 戸別受信機にあたっては、屋内設置となり、電波状況が弱く受信できない場合には、屋外にアンテナを設置し、安定的に電波を受信できるように対応しております。

総務省が戸別受信機の普及促進に向けた財政措置をしている。平成32年までの時限立法だが、国の交付措置なども活用出来るものがあれば使って、是非、戸別受信機の配布促進あるいは、無料化について努力して頂きたい。

問 停電が発生した時、直ちに防災無線で知らせたいと再三要望してきたが、改善されているか。答 東京電力から連絡を受け、電力供給に係る大規模事故が発生した場合など、停電が広範囲にわたり市民の生活に影響を及ぼすと判断した時、防災無線を活用し速やかに市民に対して情報提供を行うこととしております。

問 「避難所」に避難した場合には水や食料を出すのが、緊急避難場所では出さないといいことでなく、臨機応変に対応してはどうか。答 物資の備蓄数には限りがあり、また「自助」の観点からも避難に際しては可能な範囲で水、毛布、食料など日用品の持参を呼びかけております。